



健康トピックス

ポリオ(小児マヒ)ワクチン Q&A



Q1 ポリオ(小児マヒ)ってどんな病気?

A 急性灰白髄炎といい、ポリオウイルスが人の口に入り腸の中で増えることで感染します。

5歳以下の子どもの発症率が高いことから一般には「小児マヒ」と呼ばれますが、成人も感染することがあります。感染しても多くの場合は明らかな症状は現れませんが、まれに腸管に入ったウイルスが脊髄の中に入り込み、主に手足にマヒが現れることがあります。

今のところ、特效薬などの確実な治療法はありません。

Q2 予防接種は受けたほうがいいのか?

A 日本での自然発生はありませんが、ウイルスが海外から国内に入ってくる可能性があります。

アフガニスタン、パキスタン、ナイジェリア、中国、タジキスタンなど、世界には今でもポリオが流行している国があります。

ウイルスに感染していても、マヒなどの症状が出ない場合がほとんどで、海外で感染しても気がつかないまま帰国してしまう可能性があります。

予防接種をしない人が増えると免疫を持たない人が増えます。持ち込まれたウイルスが、免疫のない人から人へと感染し、流行が起こる可能性があります。

Q3 「生ポリオワクチン」と「不活化ポリオワクチン」ではどう違うの?

A 「生ワクチン」は、ポリオウイルスの病原性を弱めて作ったものです。ポリオにかかった時とほぼ同様の仕組みで強い免疫ができます。

「不活化ワクチン」は、ポリオウイルスを不活化し(=殺し)、免疫をつくるのに必要な成分を取り出して病原性をなくして作ったものです。

厚生労働省は、定期予防接種に使用するワクチンについて、平成24年度末までに不活化ワクチンを導入していく予定です。

Q4 不活化ワクチンが導入されるまで接種を待っていた方がいいの?

A ワクチンを接種せずに様子を見る人が増えると、免疫をもたない人が増え、国内で流行が起きる危険性が高まります。

感染を防ぐには、現時点では地域内のすべての子どもが一斉に接種を受けることが最も良い方法と言われています。

Q5 生ワクチンを受けた後に気をつけることは何ですか?

A ワクチンを接種してから1カ月程度はウイルスが便の中に出ています。おむつ交換などで便に触れた可能性のある時は、せっけんで十分に手洗いをし、ウイルスが自分または他の人の口に入らないように気をつけましょう。

市では、現在、生ワクチンによる予防接種を行っています。

対象のお子さん(生後3カ月~7歳半)には個別通知をしますので、忘れずに接種してください。

7歳半未満で予防接種を2回受けていない方はご連絡ください。

◆ポリオ予防接種について、詳しくは厚生労働省ホームページをご覧ください。

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/polio/index.html>